

弔 辞

柳川さんの突然の訃報に接し、驚きとともにまことに残念です。

思い出すと半世紀以上も前のことです。私が湘南高校サッカー部現役の頃、毎日放課後になると下駄の音を響かせながら姿を現してくださったのが柳川さんでした。大学の授業よりもこちらの方が優先でした。当時のサッカー部にはコーチの先生はおられませんでした。春や夏の合宿には、多くの先輩方が来て下さり、岩淵先生も駆けつけて戴きました。しかし毎日の練習ではそうは行きません。そこで面倒を見て下さったのが柳川さんです。岩淵先生からの依頼もあったようですが、何よりもサッカーを愛し後輩たちを思っていることだと思います。サイドキックやワンサイドカットなど基本を一から習いました。私たちが身に付けた基本は生涯役に立ち、その後の湘南ペガサスになっても基本に忠実なパスサッカーのチームと言われます。柳川さんのお陰です。

時が過ぎ、1978年に湘南ペガサスSCを作りましたが、これは柳川さんの東京への転勤祝いの会が発端でした。柳川さんがおられなければ湘南ペガサスは実現しなかったでしょう。その後、クラブは次々と上の世代のチームを作り、後継者チームを充実させて、多くの年代別チームを有するクラブに発展しました。求心力を保ちながら、クラブ組織を拡大していくのは難しいことでしたが、それを実現したのが柳川さんを中心とする運営体制でした。さらに湘南ペガサスは湘南高校現役チームのサポート役として、OB会に強力に協力しています。これも柳川さんが岩淵先生のご遺志を実現されたことです。我々として感謝の気持ちでいっぱいです。

今年湘南ペガサスSCは40周年を迎えました。湘南ペガサスは柳川さんとともに生まれ、柳川さんの見事なマネジメントによって発展し、そして今日の形に成長しました。残念ながら柳川さんは、成長した湘南ペガサスの姿を見とどけながら、私たちの前から去っていかれました。おそらく満足感はお持ちだったかと思います。しかしペガサス祭や納会で柳川さんの締めの手締りや独特の手締りをして戴けないのは何としても残念です。

ご冥福を祈るとともに、今後ともクラブの発展を見守って戴きたいと思います。

中原弘巳